

被ばく低減対策好事例集

場所		分類		番号	30-06
原子炉建屋内 (RB)	RB	5	1 時間		
タービン建屋内 TB			2 距離		
R ZONE R			3 遮へい		
Y ZONE Y			4 線源の除去		
G ZONE G			⑤ 遠隔、ロボット化		
その他 () Z			6 汚染拡大防止		
			7 その他		

内容 省電力・無線式モニタの導入と測定データの活用による被ばく低減

作業場所 2号機 原子炉建屋1FL X-6前

概略 放管員被ばく低減を目的とした省電力・無線式モニタを導入することにより、放管員の被ばくを低減するとともに、収集したデータを基に可視化し、現場管理に活用した。

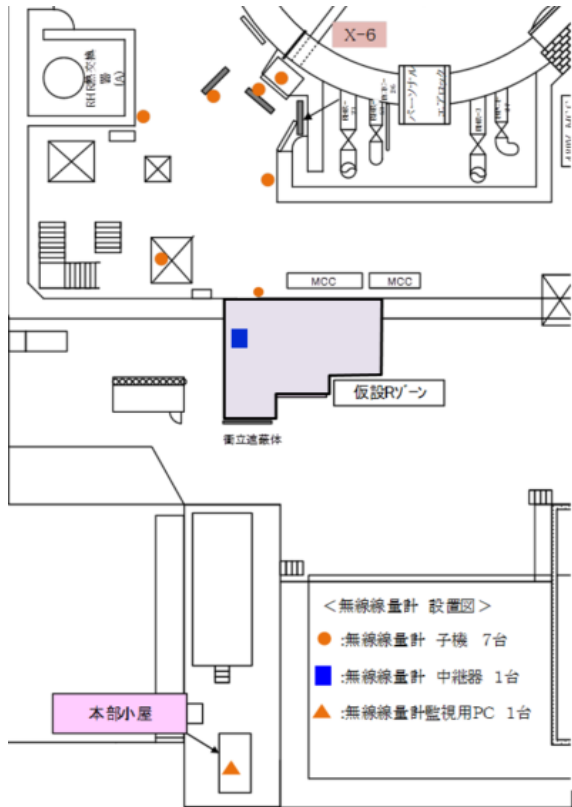
評価 (定性・定量)	効果	対策前	対策後
		被ばく線量(mSv)	--
		人工数(人日)	--

事例詳細

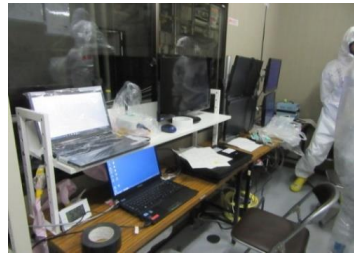
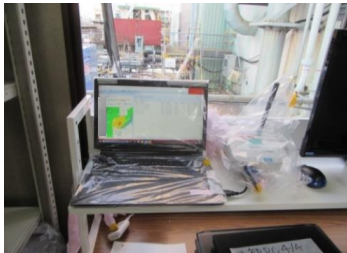
対策前 作業環境測定・管理のための放管員の被ばくが被ばく上位者の10%を占めていた。

対策内容 省電力・無線式モニタを開発・導入することで放管員の被ばく低減を図るとともに、線量データを可視化し現場管理に活用した。

現場での導入事例



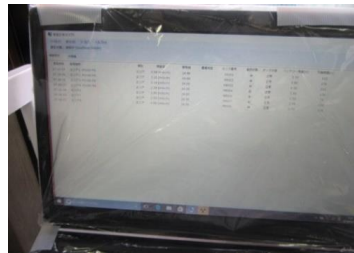
現場本部にて空間線量当量率を常時監視



現場本部小屋内(監視用PC)



ドーズマップ表示 (リアルタイム)



線量計データ表示